

2026.9
No.164

膳所
市民ニュース

ZEZE CIVIC NEWS


膳所学区シンボルマーク



発行 膳所まちづくり委員会
編集 情報発信部
膳所市民ニュース編集班
(膳所市民センター内 ☎077-524-2205)

市民ニュースHPには、お知らせやトピックス掲載中。

芭蕉の愛した膳所

成瀬の母校、膳所高校はかつて膳所中学と呼ばれていました。そこに五個荘から通っていた外村繁は【濡標】のなかで、「汽車が瀬田川の鉄橋を渡るとき、私たちの間でグリーンランドと呼びならわしている石鹿公園の緑の突端が見える」と書いています。石鹿公園は現在の膳所城跡公園です。

俳人松尾芭蕉は元禄三年(1690)3月、膳所の門人浜田酒堂の庵を訪れて書いた【洒落堂の記】の中で膳所からの眺めを「おももの浦(膳所の呼名)は瀬田辛崎を左右の袖の如くし、湖を抱きて三上山に向かう。湖は琵琶の形に似たれば松のひびき波をしらぶ。比叡の山比良の高根をななめに見て音羽石山を肩のあたりになん置きけり」と表現しました。中庄の蘆花浅水荘付近からの広大な眺めを芭蕉らしく優美に表現しています。酒堂が晩年の芭蕉にとって愛すべき門人であったことは嵐光三郎の【悪党芭蕉】に詳しく書かれています。

芭蕉の門人の一人に菅沼曲水がいました。芭蕉から最も信頼された膳所藩の重役でしたが、芭蕉の死後、膳所藩士の某を殺害して自害し息子も切腹を命じられました。曲水の妻(破鏡尼)のことを澤田ふじ子が【女人絵巻】の中で「良妻賢母として一生を貫いた彼女の生涯をうかがえば、芭蕉の影響を濃厚にうける夫外記に仕えたところから、彼女も芭蕉の衣鉢を継ぐ一人だといえなくもなろう」と書いています。

芭蕉は膳所や膳所沖合の湖上で読んだ句などをたくさん残していますが、字数の都合でここでは触れません。代わりに近代の有名な俳人の句をいくつか。【正岡子規】「明月は瀬田から膳所に流れけり」【高浜虚子】「耐ずしや膳所の城下に浪々の身」【河東碧梧桐】「勢田の句と乞はるれど如是に膳所新酒」

膳所は幾多の戦いの舞台に

壬申の乱と額田王を描いた澤田瞳子の【恋ふらむ鳥は】では、現在の田辺町から晴嵐小学校あたりに布陣した天武軍から追い詰められた大友軍は「敵は栗津岡の麓に営を延べましたぞ。隊伍を整え、じきにここに参りましょう」と叫び、膳所から敗走しました。

瀬田の橋での戦いがその後の運命を決めたのは藤原仲麻呂(恵美押勝)も同じでした。



芭蕉の句碑
「四方より花吹き入れてにの波」



菅沼曲水邸跡

膳所と文学作品

膳所と文学作品

特集

成瀬が捧げ、芭蕉は詠み、義仲が戦い、高虎は謀った

宮島未奈の小説【成瀬は天下を取りにいく】のおかげで休日には、成瀬が活躍した舞台を見たいと膳所高校あたりを訪れる方が今でも少なくありません。「膳所・文学」でネット検索すると「成瀬」以外はほとんど出てきませんが、膳所や膳所近郊が登場する文学作品は案外多いのです。前号の「膳所のなんでも学」をご覧になった方から内田康夫以外にも膳所にゆかりの文学作品を教えてほしいという要望もありましたので、今号は膳所とその周辺が登場する文学作品を特集します。



成瀬が青春を捧げた西武百貨店大津店

馳星周の【北辰の門】では、権力掌握に失敗し瀬田の国府(現在の瀬田三大寺)を目指していた仲麻呂は「橋が、瀬田橋が焼け落ちています」と聞いて、この時進路を瀬田から越前へと変更し、膳所から湖西を経て終焉の地、高島を目指すことになりました。



昭和初めの瀬田橋

膳所での最も有名な戦いの場面は義仲と兼平の最後です。【平家物語】では木曾義仲と今井兼平の最後を「木曾殿は松原へ入り給う。頃は正月二十日の暮方なれば、薄氷張たりけるに深田ありとも知らずして」深田に入ってしまった義仲は討たれます。



明治時代の栗津の松原

それを知った兼平は「これ見よや、剛の者の自害する様」と言って刀を口にぐわえ壮絶な最期を遂げます。現在の栗津中学校より山手あたりでのことでした。なお、「ぜぜ」という地名は【太平記】大渡山崎合戦で「ぜぜの瀬」として登場するのが最も古いとされています。

それから400年後、関ヶ原の戦いを制した徳川家康は全国の大名に命じて膳所にお城を築きます。設計したのは築城の名人として知られた藤堂高虎でした。安部龍太郎の【下天を謀る】では、その時の高虎の心情を「高虎は茶臼山にのぼってあたりの地形を眺め、膳所に水城を築きたいと考えた家康の気持ちがよく分かった。」と推察しています。



下天を謀る

幕末から明治へ

幕末の膳所藩では尊王攘夷運動が激しく、なかでも川瀬太宰は長州藩士をかくまうなど勤王の志士として知られていました。山本周五郎の【日本婦道記】の「尾花川」で、「かれの本姓は戸田氏である、近江のくに膳所藩の老臣戸田五左衛門の五男に生まれ」とあります。太宰は新選組により捕らえられ斬首されますが、膳所では藩内での対立から尊皇派の藩士が斬首されたり、脱藩後討幕運動に参加して命を失う者もいました。本多神社境内内の丹保の宮には膳所の志士たちを顕彰した石碑が立っています。



丹保の宮

明治24年ロシア皇太子ニコライを津田三蔵が襲った大津事件の判決後のことを【湖の風】で富岡多恵子は「津田三蔵は膳所監獄署から朝十時に馬車で馬場停車場へそこから汽車で兵庫仮留監へ送られた」

と書いています。膳所監獄はその後昭和30年代終わりまで存続しましたが、現在は跡地が生涯学習センターや団地になっています。馬場停車場は現在のJR膳所駅のことです。



かつての膳所刑務所(監獄)

古典の世界の膳所

膳所を詠んだ古歌もいくつかあげておきます。

「どこおる時もあらじなあふみなる
おももの浜の蜚(漁師)の日つぎは」
(拾遺集 兼盛)

「大比叡や小比叡の雲のめぐりきて
夕立すなり栗津野の原」
(賀茂真淵)

「関こえて栗津の森のあわづとも
清水にみえし影をわするな」
(後撰集 読み人知らず)

「おももの浜」は現在の膳所城跡公園から御殿浜あたりで、中世は採れた湖魚などを御所に毎日届けていました。「栗津野」は現在の西の庄から別保にかけて、「栗津の森」は中津町から瓦ヶ浜にかけてです。なお、栗津野や栗津の地名は【枕草子】や【更級日記】【方丈記】にも登場しますし、能では膳所にゆかりのある演目と



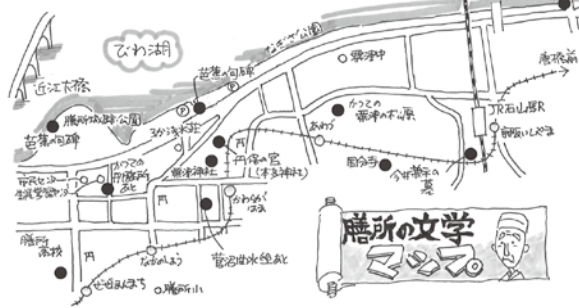
巴御前供養塔
(国分寺)



今井兼平の墓

今回紹介した文学作品は編集長が選定しました。そのほかに膳所が登場する小説や詩文など文学作品の情報があれば、編集長・寺田智次(〒520-0812 木下町7-6)までお知らせください。いずれの機会かにあらためて紹介いたします。

最後に膳所の方たちなら絶対に知っていてほしい松尾芭蕉の手紙の一文を
「ひとえに膳所はふるさとの如くに存じなし候」
芭蕉推し⁺の膳所です。



10月4日(日) 膳所学区市民運動会(雨天中止)

膳所学区市民運動会が10月4日に開催されます。町対抗種目以外にも個人参加の競技を充実させたり、昼の休憩時には膳所高チア班の演技や膳所商店街による抽選会も行い、より多くの町内の方が運動会を通じて交流を図っていただけるように工夫されています。また今回から開会式の時間短縮や当日中止の場合の連絡を早めるようになりました。開始は午前9時15分です。5分前集合にご協力をお願いします。



膳所ブリングアップ(ゼブ)に感謝状

膳所ブリングアップ(本部長 森松貴志)に滋賀県民総あいさつ運動顕彰として感謝状が贈られました。長年にわたる青少年の健全育成活動が評価されたもので、5月19日(火)に行われた滋賀県青少年育成会議総会では杉浦智子事業部長がこれまでの取組内容と成果を報告しました。

また、ゼブの地域安全部では、年間約50日、20時から膳所の公園や学校園などを巡視していますが、今年も夏休み期間中の11日間、夕暮れ時に遊んでいる子どもたちに声を掛ける「愛のパトロール」を実施しました。



膳所小創立150周年式典とマルシェ開催

6月13日(土)に佐藤大津市長も参加されて膳所小学校創立150周年記念式典が開催。協賛イベント「わっくわくマルシェ in 膳所小学校」も校舎内で実施され、手作り品や食べ物、コー

ヒーなどの販売や木工教室で校舎内はあふれるほどの人のにぎわいでした。



膳所の先生たちが膳所学の研修会

膳所学区の保育園、幼稚園、小中学校の先生たち45人が参加して、膳所の歴史を学ぶ膳所学研修会が、7月22日(水)に実施されました。市民ニュース編集長の寺田智次が講師となり、膳所駅は平野学区なのになぜ「膳所駅」、「膳所本町駅」だけなぜ膳所と付いているのなど事前に先生たちが用意していた34の質問に講師が答える形で進められました。コロナ以降家庭訪問などもなくなり、地域の歴史や文化を知る機会の減った先生たちは全員が熱心に耳を傾けていました。



膳所学区青少年育成大会

膳所ブリングアップでは、8月29日(土)19時から膳所市民センターで大津市少年センター木澤義樹所長による講演会「今の子どもを理解する」を開催。青少年委員など30人が参加しました。

各町で地蔵盆

地蔵盆は子どもたちのための滋賀や京都独特の習わしです。少子化で、参加する子どもが減ってきたものの、膳所の多くの町内では今年も8月22日から23日に地蔵盆を開催。読経や数珠回し、ゲームやおやつなど様々な企画で子どもたちを楽しませました。



瓦ヶ浜町の地蔵盆

膳所小学校創立150周年記念

膳所小学校おやじ倶楽部では、8月29日(土)膳所小学校創立150周年記念事業として、恒例の肝試しを開催。今回のテーマは「御膳所主様」。こどもたちと折り紙で遊んでほしい御膳所主様なのに、遊んでくれないと・・・(怖)

参加した子どもたち約900人からは笑い声や悲鳴も聞こえて膳所小学校夏休み最後の土曜日は「御膳所主様」も大満足でした。

夏の終わりの「肝試し」



夏を楽しんで! 膳所商店街納涼夏まつり

膳所商店街では、8月23日(日)膳所城跡公園で夏まつりを開催。会場では、縁日や抽選会、膳所音頭の盆踊りのほか水鉄砲大会も実施され、参加した子どもたちはびしょ濡れになりながら夏を満喫していました。



神社(篠津・和田)でも夏まつり

中庄の篠津神社では、8月15日(土)午後6時から祇園祭と千灯祭が行われました。篠津神社の活動を応援している市民グループ雄飛会やボランティアによる夜店が参道や境内に並んだほか、射的やヨーヨーつり、空くじなしの福引も行われ大勢の人達が訪れました。

また、木下町の和田神社では、8月16日(日)に千燈祭を開催。夕方から子どもたちが神社の周辺で神輿渡御、午後5時からは氏子の若手グループ和加樹会による縁日が行われました。



あてもの、スーパーボールすくいなどのほか、生ビールも販売され和田神社は浴衣姿の親子連れなどでにぎわいました。



夏休み折り紙教室に親子で

8月3日(月)膳所公民館で折り紙教室が開催され、佐藤弘子さん望月久代さんの指導の下、親子連れなど20人が参加しました。



11/1 ふれあいまつり2026は膳所小学校で

例年膳所城跡公園で開催されていた「膳所ふれあいまつり」は、本年が膳所小学校創立150周年であることから記念行事の一環として膳所小学校体育館などで行われることになりました。

期日は11月1日(日)の午前10時から午後3時まで、雨天の場合は11月3日(祝)に延期されます。



なお前日の10月31日(土)午後1時30分からは膳所城跡公園内にて弁財天祭礼が挙行されます。

主な内容

膳所の子どもたちが出演するふれあいステージ(膳所小学校体育館)、膳所商店街やおやじ倶楽部、膳所健康推進協議会などが出店する模擬店、膳所ブリングアップやおもちゃランドによる子どもの遊びコーナー、膳所小学校屋上から子どもたちがそれぞれの願いや思いを叫ぶ「膳所のでっぺんで愛を叫ぶ」など



体育館内は土足禁止です。
かならず上履きをお持ちください。

10/31~11/3 膳所学区文化祭

文化の秋にふさわしく恒例の文化祭が開催されます。日頃膳所公民館で活動されている利用者団体の書画



や陶芸作品などのほか、膳所の保育園や幼稚園児、小中学校の児童生徒の作品も展示されます。

期間 10月31日(土)~11月3日(祝)

時間 午前10時~午後4時

会場 膳所市民センター 3階

10/11 膳所商店街秋祭り+SAKEパラダイス

滋賀のお酒を楽しむイベントSAKEパラダイスと膳所商店街の秋祭りが10月11日(日)に開催。雨天の場合は翌日に順延。



防災訓練に参加を

膳所学区自主防災会では、11月15日(日)午前中に防災訓練を実施します。避難所開設訓練の会場は膳所小学校。



昨年の訓練の様子

- ①各家庭で安全確認、自治会での安否確認、一時集合場所への集合訓練
 - ②その後の避難所への避難と避難所での受付訓練
 - ③避難所開設訓練と避難者受け入れ訓練
- 対象の自治会 和田神社区/池の内東、池の内北、池の内南、湖城が丘東、秋葉台、篠津神社区/殿町、桜馬場、椿原町、不動寺町、ルネ大津膳所
- 対象以外の自治会は本部に状況報告。
- 報告者は各町防災委員と希望者。
- 訓練説明会 10月17日(土)14時より市民センター3F大会議室にて(対象 防災委員、防災士他)

歴史資料室秋季企画展

谷川博己切り絵展

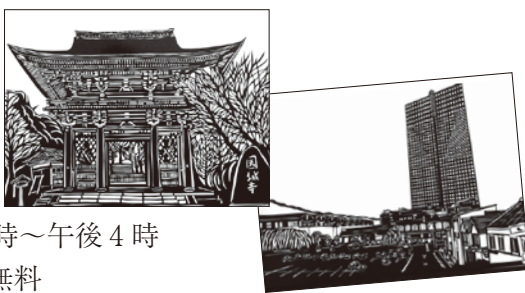
part 3

「膳所から外へ 新36景」

膳所歴史資料室運営協議会では、北相模町在住の谷川博己さんが切り絵で描いた膳所の風景作品展を2回開催してきましたが、今回は第3弾として谷川さんが2年間かけて新たに制作された膳所を含む大津などの風景36点をご覧ください。

期間 令和8年11月7日(土)~11月15日(日) 午前10時~午後4時

会場 膳所市民センター2階 膳所歴史資料室 入場無料



11/22 みんなのマルシェ in 唯傳寺

膳所小学校前の唯傳寺でマルシェが11月22日(日)に開催されます。主催するのは桜馬場自治会員などで構成する唯傳寺マルシェ開催実行委員会です。6月7日(日)に行われた際は境内に10店舗が並び、本堂ではお琴の演奏や落語会も行われました。雨にもかかわらず家族連れなど約200人が訪れました。今回は、さらにパワーアップした企画も検討中です。ご期待ください。

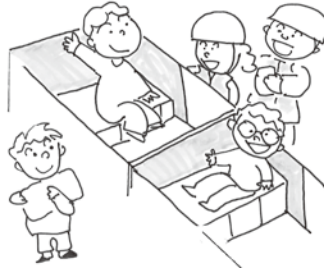


6/7の様子

子どもたちと避難所体験



膳所ブリングアップでは、自主防災会と協力して子どもたちと避難所体験訓練を初めて実施します。期日は10月10日(土)~11日(日)の1泊2日で、膳所城跡公園内に設置されている「防災ベンチ(災害時かまどとして使えるベンチ)」で自炊したあと、夜は膳所市民センター内会議室に宿泊体験して、災害時の対応策や避難の仕方などについて学ぶ予定です。



膳所はんなり寄席

11月8日(日) 蘆花浅水荘にて膳所出身の落語家・三遊亭わん丈さんの落語会が開催されます。



入場料3,500円(入場対象 中学生以上に限定)。膳所の重要文化財となっている伝統建築と伝統の話芸のコラボをお楽しみください。詳しくは、はんなりほっこりおいでやす事務局 ☎077-522-2249西久商店・平井まで。

市民センター前歩道整備と公園改修

大津市では、膳所市民センター入り口付近の歩道整備工事に着手しています。また、膳所城跡公園でも野外ステージの屋根改修工事と公園トイレのバリアフリー工事が10月から着手されました。いずれも来年春までの完成の予定です。



膳所小学校の思い出(旧校舎の頃)



6月20日~6月28日まで膳所歴史資料室で開催された「膳所小学校創立150周年史料展」では、思い出ノートを設置して、来場者から膳所小学校の思い出などを自由に書いてもらっていました。そのなかから旧校舎の頃の思い出をいくつか紹介します。

連絡「運動会や遠足などが雨天中止になる場合、連絡手段として近所の指定された家に赤い旗が上がりました。木下町では東海道沿いの中西さん宅に見に行きました」(Kさん)

下校「庚申川の暗渠に入っていたら近所の人に怒られました」「4月8日クラス替えの日はお釈迦様の誕生日でした。裏門から帰るときにお寺で甘茶とお菓子をいただきました。清徳院にはしごする子もいました」(Kさん)

貨物列車の影「冬の夕方、東海道線を走る貨車の影がグラウンドを走ります。遊んでいた子どもたちは中断して、その影をジャンプしていました」(Kさん)

木造校舎「両側に凹みのあった木造の階段手すりには、またがって滑るのにちょうどよく、見つかったのは叱られました」「木造校舎の床は黒っぽいフローリングで、定期的に油引きという作業を生徒たちがしていました。青っぽいドロツとした油をモップに浸して床に塗っていくのです。塗った後は当然よく滑り、スケートリンクみたいに滑りまわってはしゃいだものでした」(Tさん)

売店「運動場から講堂に抜ける通路の左、階段の隣に小さな売店がありました。色んな文房具があって、自分のお金で初めて買い物をした場所でした」(Tさん)

におい「校舎1階東南橋にあった理科室のにおい。給食室のにおい」(Tさん)

プラモデルのお店「正門からすぐのところ小さなお店があって、おもちゃやプラモデルを売っていました。B29のでっかいプラモデルが垂涎的でしたが、高額でいつまでも店頭にありました」(Tさん)

ご存知でしたか
膳所の雑学
⑫

「若大将
と膳所」

若大将こと俳優で歌手の加山雄三さん。写真は1967年映画「ゴー！ゴー！若大将」の撮影が近江大橋近くで行われていた時のものですが、加山雄三さんの高祖父は500円紙幣の肖像にも採用された明治の元勲岩倉具視です。その岩倉具視の妻は膳所藩士野口賀代の娘、楨子で

コラム

膳所の漁師の昔話 ⑬

「琵琶湖シャンソン」田中政之

昭和の初め、みどり丸と呼ばれていた観光船がありましたが、それを日本調に歌った「琵琶湖シャンソン」という名前の曲を覚えています。私が生まれた昭和5年の作品で作詞は西条八十、作曲、中山晋平 歌手、佐藤千夜子という豪華な顔ぶれでした。

曲の2番は「湖で暮れば 寂しいころ せめて飛ばそか せめて飛ばそか伝書バト 可愛や翼が 夕陽で染まる あれは多景島 やーれ それぞれ 竹生島」ですが、この中に出

新・町名に歴史あり
消えた町名 ④

「天神町」

天神町は明治時代の初め、袋町と新町が一つになってできましたが、町名の由来は中世に天満宮があったためとされています。しかし江戸時代の終わりごろに火災で天満宮が焼失したことから、ご神体は若宮八幡神社に預けられました。昭和15年、有志により湧き水があっ

膳所の気になる木 ⑩

「生涯学習センター
のヒメリンゴ」

この時期には、生涯学習センター西側入口では、向かって左側に小さな実をいっぱいつけた木があります。イヌリンゴとも呼ばれるバラ科の植物です。9年前の生涯学習センター改修工事の際に、リンゴは知恵の象徴とも言われていることから生涯学習センターを象徴する木として植えられました。

読者からのお便り

市民ニュースの読者の方から、クイズへの回答に併せて前号(163号)の記事や思い出など感想をたくさんいただいていますので、一部を紹介します。
■浅見光彦と金波／膳所のお店が内田康夫の小説に登場していたとは知りませんでした。他にも文学作品で膳所が登場するのはありますか(杉浦町Tさん)■瑞穂／施設長元藤さんのお父さんには膳所高で化学を習いました(別保一Tさん)■市民ニュースは話題も豊富で楽しい内容です。新シリーズまちで拾った言葉の企画もす



1967年膳所にて 野口家の墓
した。加山雄三さんは、岩倉具視と楨子の子ともである岩倉具定のひ孫です。なお攘夷派の浪士に命を狙われていた岩倉具視を一時期かくまっていたとされる膳所藩士野口家の墓は、中津町の光源寺にあります。

て来る「伝書バト」とは、当時まだ大型観光船に無線電報がなく、船客の非常の場合を考えて船内に伝書バトを飼い利用していたためだそうです。

なぜ寂しいと「伝書バト」を飛ばすのか不思議でしたが、琵琶湖汽船の100年史を読んで理由を知りました。

田中政之さんは令和7年9月22日、95歳で永眠されました。この原稿は生前に編集長に託されたもので、ご遺族のご了解を得て掲載させていただいています。

たところに天神様を祀った祠が建てられましたが、つい最近その祠も廃されました。昭和39年からは住居表示の変更で町名は杉浦町、自治会名は杉浦3区と改め「廃された天満宮の祠」られています。なお、江戸時代の初めに当地の湧き水から観音様が見つかったことから、それを祀った相模川河口のお寺を泉水寺というようになりましたが、泉水寺も廃寺となり、今はフレンドマートになっています。

こぼれ話 ⑮

膳所小の石鹿像

今は、膳所小学校グラウンドの南隅に並んでいる鹿の石像。膳所城が石鹿城と呼ばれたことにちなんで、昭和44年(1969年)、校門の門柱として建てられました。当時の校門は火災後の建て替え工事で門柱がなくなっており、民間からの寄附で校門に設置しましたが、その後一連の学校施設整備で現在地に移されました。なお鹿のデザインは教師でもあった日展作家、木村秀信さんによるものです。

ばらしい(丸の内町Yさん) ■いろんな膳所の情報ありがとうございます。町で拾った言葉が面白かったです(別保2 Kさん) ■本多神社の妖刀／中学生の頃本多神社膳所藩資料館を見学させていただいたことがある。中に入ると空気感が一変。甲冑、刀、古文書など歴史を感じる本多家の遺品の数々が目に入った。右手奥には一振りの太刀があり不思議な深い光沢を放ちながら飾ってあった。ブレード雲は見事に美しく、深くて重い光沢に引き込まれてしまった。読者の皆様には『あの妖刀は一見の価値があるぞ』とマジで申し上げたい(御殿浜KMR) *残念ながら宝剣や太刀は管理上の理由から現在は展示されていないとのことです。なお資

膳所商店街《協賛》

市町の名前パズル

□の中に漢字1文字を入れて、矢印の方向に2字の市名や町名4つができるようにしてください。
正解者の中から3名の方に、膳所商店街お買い物券(千円相当)をプレゼントします。
応募方法／ハガキに答と住所、氏名、面白かった記事や感想をご記入の上、「〒520-0812 大津市木下町7-6 寺田智次」まで。
メ切／令和8年10月30日消印有効。当選者の発表は商品の発送をもってかえさせていただきます。なお前回の答は「海」でした。

ヒント：杜の都といえば

問題

大
↓
雲→□→台
↓
北

例題

熱
↓
東→海→南
↓
土

- 膳所商店街のお店と事業所(順不同)
- 金波(丸の内町9-30) ●中山製茶(中庄2-1-58) ●富永園茶舗(膳所2-10-15) ●いとう呉服店(中庄1-15-23) ●中塚電機(中庄1-13-12) ●高木生花店(中庄1-15-10) ●竹内自転車店(杉浦町19-16) ●HAIR MAKE PROOF OF POWER(中庄1-11-19) ●京都新聞膳所販売所(秋葉第11-5)
 - 山本石材店大津店(相模町2-44) ●もも薬局(丸の内町9-30) ●池田生花店(膳所2-2-21) ●文具まつうら(相模町4-12) ●貴宝堂よこの(丸の内町4-38) ●馬杉湖魚店(本丸町1-3) ●ガジェットハウス(膳所2-10-13) ●澤建設工業所(膳所1-4-20) ●滋賀銀行膳所支店(本丸町1-18) ●松田常盤堂(本丸町5-56) ●いのうえ(丸の内町4-41) ●西久興産(膳所2-13-6) ●読売センター膳所(丸の内町4-40) ●加藤酒店(木下町13-1) ●京都信用金庫膳所支店(本丸町1-1) ●ライフハピネス(御殿浜7-22)

大好評
新シリーズ

まちで拾った言葉②
どういう意味?

立ち話している方たちの言葉や言い回しの中には、他所から膳所に来られた方や若い人たちにとって「？」と思われる言葉があります。膳所に住んでいると「なんでもない」言葉を様々な場所から拾い集めました。

「ほや」 そうだ 「そうや」から変化した同意の言葉
例「なんでも男が悪いんか」
「ほや」

「せんどする」 何度も、何回もの意味。あるいは退屈する。古くからの言葉だが語源は不明

「しゃあない」 仕様がないうの転用。仕方がないという意味だが、あきらめとともに相手に対する思いやりやなぐさめの気持ちもある
例「夏休みの自由研究したんかって、せんど言うたろ。しゃあないなお父ちゃんにしてもらい」

「せつろしい」 気ぜわしいの意味 わずらわしいというニュアンスも含む 例「せつろしいな、佐藤の打席だけ待ってえな」「なんやて」

料館は現在特別な場合のみ公開されています。公開される場合は市民ニュース等でお知らせします。(編集長)

本多神社

(4)膳所 市民ニュース